



かながわの交通



今年の交通安全年間スローガン一般部門：A（全日本交通安全協会会長賞）
運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの

カチツとね ベルトが守る その笑顔



ウインドサーフィン

(鎌倉市腰越)



自転車はどこを走ったらいいの…？ 教えて！

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年7月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成28年		15,449	69	18,289	県人口	9,146,941	4,565,559	4,581,382
平成27年		16,547	98	19,666	免許人口	5,612,387	3,230,746	2,381,641
増減数		-1,098	-29	-1,377	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		-6.6	-29.6	-7.0				

(県人口は平成28年7月1日、免許人口は平成28年6月末現在)

交通事故死亡事故(平成28年上半期)の特徴

～交通事故死者数56人の分析～

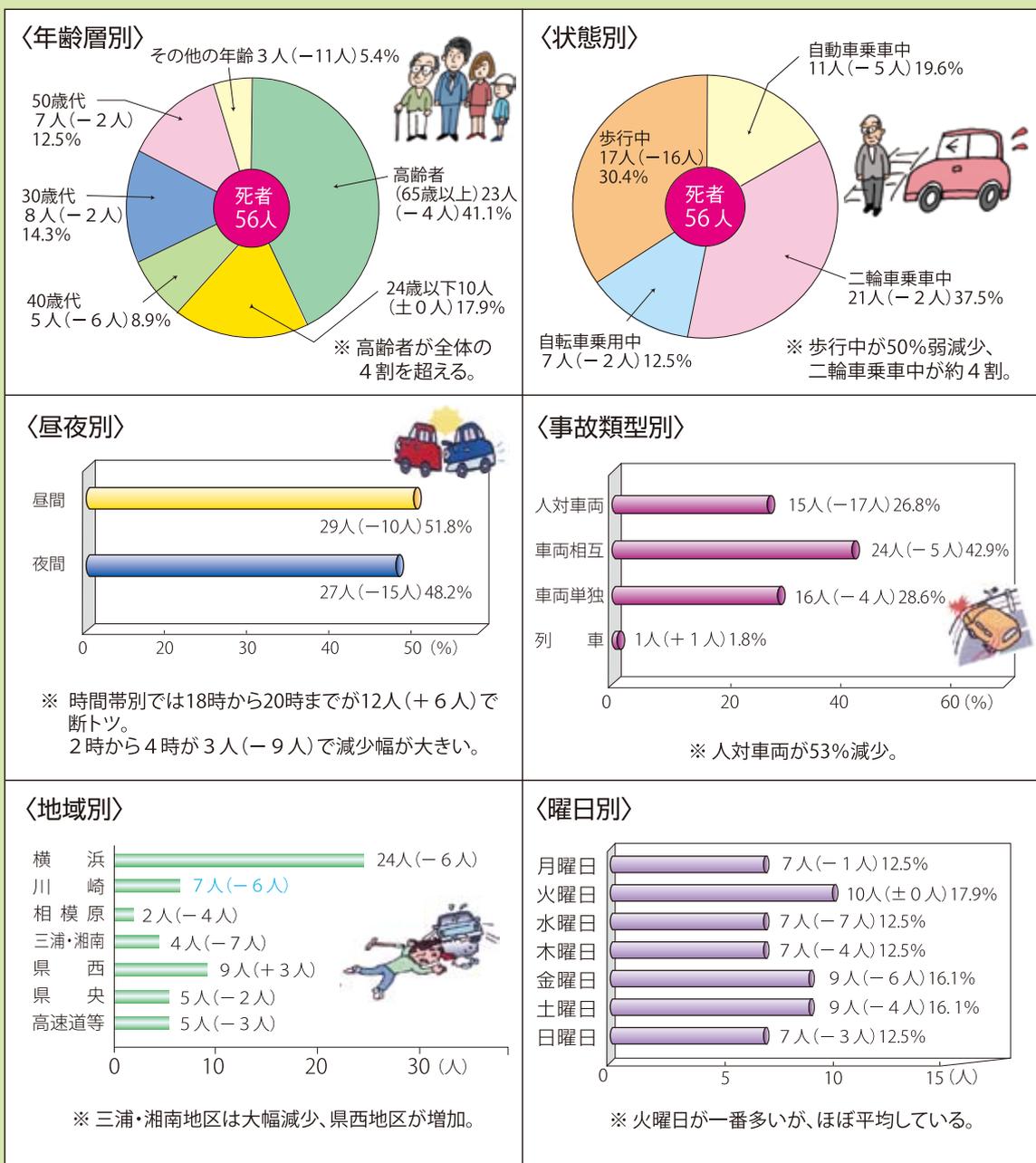
● 交通事故死者数 **過去最少** (平成25年の72人から大幅減少)

- 前年同期比-25人で全国ワースト第12位
- 各月では2月と4月が過去最少で、5月は過去最少タイ
- 飲酒絡みが2件(-4件-66.7%)、速度超過絡みが16件(-14件-46.7%)と大幅減少

「第10次神奈川県交通安全計画(平成28年度～平成32年度)」の目標

交通事故死者数 年間150人以下

を達成するため、今後の交通死亡事故抑止対策に全力を!



注：()内は前年同期比、%は全死者数に占める割合を示す。

夏の交通事故防止運動 交通死亡事故増加!!

7月11日(月)～20日(水)までの10日間、県内各地区で夏の交通事故防止運動を実施しました。(巻末参照)南交通安全協会では、弘明寺駅前横断幕を掲げ商店街に移動して買い物客に、小学校の交通安全教室で子供たちに、また、津久井交通安全協会では、「交通事故死ゼロ500日」達成(7/19)を祈願して、国道413号三ヶ木及び川尻交差点で「交通事故コーン絶」と称してドライバーに、それぞれ交通安全を呼びかけるキャンペーンを展開しました。



(南交通安全協会)



(津久井交通安全協会)

◇県内の交通事故発生概況(7/11～20)

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
本年	764	5	910
前年同期比	-22	+4	-26
増減率(%)	-2.8	+400.0	-2.8

昨年と比較して期間中の交通事故発生件数、負傷者数は減少しましたが、**亡くなられた方は7人で2人増加**してしまいました。亡くなられた方の内訳は、歩行者が3人、バイク運転者が2人、自転車利用者1人、普通乗用車同乗者1人で、歩行者の1人は高速道路上で被害に遭っています。



第49回二輪車安全運転全国大会 神奈川県チーム団体第5位

去る8月6日、7日の両日、三重県の鈴鹿サーキットで第49回二輪車安全運転全国大会が開催されましたが、神奈川県代表として

●一般Aクラス(400cc) 芦田伸一郎 ●一般Bクラス(750cc) 石見光隆
●高校生等クラス(50cc) 菊田宣親 ●女性クラス(50cc) 加藤由貴子の各選手が出場しました。



(神奈川県チーム選手、監督)

神奈川県チームは、橋本監督以下少数精鋭のコーチ陣による熱心な指導と、サポーターの方々の手厚い支援を受けて、6月の県大会以降猛暑の中での特別訓練を重ね、チームワークを発揮して各クラスで奮闘した結果、団体は**総合第5位**、個人では、高校生等クラス**菊田選手**及び女性クラス**加藤選手**がそれぞれ見事**第3位**に入賞しました。

大会の様相

● 大会前日

監督、選手、サポーターが早朝から新横浜の県協会会館に集合し、大型バスの到着を待って、荷物を積み込み、県協会職員の見送り、声援を受けて出発。東名高速道路を経由して午後3時頃鈴鹿サーキット着。荷物を紐解く間もなく、監督、選手は競技会場の下見を行い、大会本番に備えました。

● 1日目

正午からの開会式に臨み、猛暑の中午後1時30分、Aブロック女性クラス、Bブロック高校生等クラス、Cブロック一般Aクラス、Dブロック一般Bクラスに分かれて競技がスタートしました。

暑さと緊張からか、練習では難なくクリアしていた競技種目で思わぬ減点もありましたが、団体総合第8位で1日目を終え、団体上位入賞へ望みをつなぎました。

● 2日目

朝方は曇り空でしたが、予報通りの暑さに熱中症も心配される中、各選手は最大減点のないよう落ち着いて競技に臨み、「チーム神奈川」に徹した結果、団体成績を第5位まで挽回しました。「チーム神奈川」の団結力、底力が発揮されました。

帰路は、お風呂で汗を流しながら、またバスの中で反省会を行い、来年の団体優勝を誓いました。新横浜県協会到着は午前1時過ぎ。監督、選手の皆様お疲れ様でした。

サポーター、関係者の皆様方、ご支援・ご協力ありがとうございました。



(菊田選手のスラローム)



(加藤選手の悪路応用走行)

第51回交通安全子供自転車全国大会

8月3日(水)、各都道府県の代表選手が東京ビッグサイトに集合して「第51回交通安全子供自転車全国大会」が開催されました。

本県からは、去る7月2日の「第47回交通安全こども自転車神奈川県大会」で初優勝を果たした開成町立開成南小学校チーム(万年 環、進村 心花、橘 真名、阪上 菜音の各選手)が会場近くのホテルに前泊して出場。応援団は大会当日、大型バスをチャーターして新調した出場選手のユニホームとお揃いのピンクのTシャツに身を包んで、安全協会はじめ家族や学校関係者など大勢が駆けつけ、選手を激励しました。



(万年選手のジグザグ走行)

大会は各種目減点方式で、午前9時から学科テスト(600点)を行い、実技会場に場所を移動して開会式を行った後、午前11時から、昨年優勝の愛媛県チームが実技(安全:350点・技能走行250点)テストをトップでスタート。本県チームは24番目に一番員の万年選手がスタートしました。

開成南小学校は初出場でしたが、足柄地区としては3年連続の全国大会出場で、これまでの経験と実績をもとに県警察本部交通安全教育隊の特別指導を受けるなど厳しい練習を重ね、例えば「ジグザグ走行」では選手4人が並んで連続してリズムカルにノームスでクリアするなど、県大会以上に上達、選手も自信を深め、周囲から期待されて大会に臨みました。



(選手、応援団の皆様)

しかし、各選手から「学科テストは、選択問題で文章の意味が分かりずらかった。」と、出題の文章の微妙な違いを読み取ることに戸惑ったとの感想があったほか、実技テストでは、安全走行は見事クリアしたものの、技能走行は全国大会独特の雰囲気もあってか、全選手が実力を発揮出来ませんでした。

結果として団体成績は昨年、1昨年より順位を上げましたが、全国大会のレベルは高く、団体、個人とも入賞を果たすことはできませんでした。

選手、関係者の皆様お疲れ様でした。



交通安全こども自転車神奈川県大会に初出場して

座間市市民部市民協働課交通防犯係 石川安希子

「楽しく自転車の交通ルールを学べたら。」座間市は長らく神奈川県交通安全対策協議会より自転車交通事故多発地域の指定を受けています。この状況をなんとかしようと、5月に「自転車交通事故撲滅宣言」を行い、その事故防止策の一環として、平成に入りはじめて自転車大会に出場することになりました。

しかし、24インチ自転車をはじめとする機材もなく、大会経験のある指導者も少なく、練習日はわずか一回。すべてが手探りの状況で、座間市交通指導員や座間警察署をはじめ、学校関係者や保護者の協力のもとなんとか当日を迎えました。

出場チーム中、初出場は座間チームのみでしたが、指導者たちの心配をよそに選手たちは堂々とした走行を披露してくれました。会場に向かうバスの車中でも標識などの交通ルールを確認する声が聞こえ、たった一回の練習日から保護者と一緒に自主練習を重ねていたと聞いて、思わず目頭が熱くなりました。入賞にはあと一歩及びみせませんでした。何より楽しみながら参加ができたことを嬉しく思います。

最後に、今回の出場にあたりお力添えをいただいた関係者の皆様へ深く御礼申し上げます。



《祝 神奈川県民功労者表彰受賞》

大和綾瀬交通安全協会会長 古郡 保正 氏

去る6月10日、神奈川県庁本庁舎3階大会議場において、公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を広く顕彰することを目的とした神奈川県の最高表彰の一つである本表彰を受賞しました。

功績の概要は、幼稚園を経営し幼児の健全な育成に熱意を注ぐ傍ら、大和綾瀬交通安全協会会長として、長期かつ多岐にわたり交通安全思想の普及啓発活動を積極的に推進するなど、地域における交通事故防止に優れた成果を上げたことです。

後日、関係機関・団体の方々が集まってその功績をたたえ、祝賀会が盛大に行われました。



新任事務長紹介 ～よろしくお願ひします～

鎌倉交通安全協会
岩 沢 三 郎 事務長



平成26年3月末に鎌倉市消防本部を定年退職し、同年4月に再任用として同本部に採用され、更に平成27年4月に鎌倉市役所総合防災課に再就職し、任期満了後の平成28年4月に鎌倉交通安全協会の事務長に就任いたしました岩沢三郎と申します。



鎌倉は一年を通じて観光客が多く、祭礼・花火大会・カーニバル等各種イベントが開催され、自動車・自転車・歩行者の事故やトラブルが多数発生しています。このような交通事故を減少させるため、平成28年度神奈川県交通安全県民運動事業計画に基づき、鎌倉警察署のご指導のもと、鎌倉市交通安全対策協議会等関係機関と密接な連携を図り、鎌倉管内の交通安全確保のため積極的に取り組んでまいりますので、皆様の協力方よろしくお願ひいたします。

トピックス

〈相模原交通安全協会〉

セーフティリーダー研修会 & 交通安全標語コンクール



(セーフティリーダー研修会)

夏の交通事故を防止するため、一つは、相模原市中央区の小学生20人を対象に7月18日産業会館で行われた「中央区を体験する文化祭」で「セーフティリーダー研修会」を行った後、隣接する総合学習センターに赴いて、交通安全パネルクイズを実施して交通安全を呼びかけました。今後、交通安全に関する新聞作り等を行い、友達などに交通安全の輪を広げていく予定です。

二つ目の市内中央区の4つの小学校の生徒を対象にした「交通安全標語コンクール」は、1,437点の応募作品の中から入賞作品を選定し、7月20日に光が丘公民館で表彰式を行いました。表彰式には井上会長が参列して最優秀賞1人、優秀賞4人、佳作24人に賞品を授与するとともに、最優秀賞に選ばれた青葉小学校3年竹内あ

いるさんの通う小学校に、その標語
「とび出さない!」 いのちをまもる 合言葉
の入った横断幕を贈呈し、交通事故に遭わないよう呼びかけました。



(交通安全標語コンクール)

交通事故の悲劇に学ぶ 39

●「三度目の正直」

事故さえ起こさなければ、バレなければ……。無責任で自分勝手な考えで私は無免許運転を繰り返していました。

ある日私は、無免許であることを隠して運転し、彼女と遊びに出掛けました。その帰り道、私は疲労からシートベルトをするのが面倒くさくなり、未装着のまま走り出してしまいました。案の定、高速道路入口で呼び止められました。違反した事実よりも彼女に無免許であることを知られたら格好悪いと感じた私は、即座に兄の名前を騙りその場を逃れました。

「バレたらどうなるのだろう。でも誰かを傷付けたわけではないし、ただ名前を使っただけ……」身勝手に楽観的に考えた私は、その後も無免許運転を続け、三度目の違反を犯してしまいました。前回同様、兄の名前を騙ってその場を逃れました。今思えば、最初の違反逃れで味をしめてしまったのかもしれない。しばらくして兄の免許更新の際、私が犯した違反が全て発覚し私は在宅起訴となりました。判決は、有印私文書偽造、同行使及び道路交通法違反で懲役2年6月、執行猶予5年でした。

判決から2年ほど経った頃、念願だった飲食店を開業することができました。開業後は忙しさに追われ、執行猶予中ということすら次第に気に掛けないような日々を送っていました。さらに1年半が経とうとしたとき、私は3度目の過ちを繰り返してしまったのです。忘れもしないその日は、レストランウェディングの予約が入っていました。早朝からスタッフ総出で準備をしていました。品物の不足に気付いた私は、時間が迫っていること、目的地がさほど遠くないことなどから自分で買い出しに行った方が早いと考え、運転してしまっただけです。予約のことで頭が一杯の私は、右折禁止の違反をしてしまいました。私は「執行猶予中」という自分の状態を思い出し、頭の中が真っ白になりました。このまま逮捕されれば店は結婚式はどうなるのか……。結果的に私は再び兄の名前を騙ってしまったのです。

店に戻ってからの私は、「またやってしまった」という後悔と自責の念から仕事は手につかず、自首することを決めました。私は緊急逮捕され、取調べ中ずっと項垂れながら「すみません」としか言えなかったのを覚えています。1時間ほどすると、母と弁護士が警察署にきました。会いに行くと、身体を震わせ涙を堪える母がいました。母からは一言、「もう好きにきなさい……」と言われ私は母の顔を見られないまま「ごめん」とだけ謝ってすぐに取調室に戻ってしまいました。数時間後、取調室を出ると外はすっかり暗く夜10時を過ぎていました。留置場に入るためにロビーへ行くと、遠くのベンチに一人でビニール袋を抱えている母を見つけました。母は私に気付くと立ち上がり、何かを言おうとしている様子でした。私は軽く頭を下げ、留置場へと向かいました。用意された布団に横になると、涙が溢れ



(イラストは本文とは関係ありません)

るとともに、なぜ母がまだいたのか、何を言おうとしていたのか、申し訳なさや情けなさで一睡もできませんでした。翌日、担当の警察官から、私が何も食べていないだろうと心配し、お弁当を買って、いつ戻ってきても暖かく食べられるようになるべく冷めないようにと抱えて、何時間も1人で待っていたのだと聞かされました。私は胸がかきむしられるような思いでした。

その後、私は店のことや従業員のことなどの整理のため、保釈されました。店を閉め、身辺整理を済ませた私は、一番迷惑を掛けてしまった兄に謝罪しました。それまで仲の悪かった兄でしたが、今回の件をきっかけに生まれて初めて正面から向き合って話をすることができました。兄は「やり直していこう」と私を励ましてくれました。

私は3年6月の実刑判決を受け、現在、市原刑務所で反省の日々を過ごしています。受刑中、一番学んだことは「ルールの持つ意味、大切さ」、そして「責任と義務の重大さ」です。車は扱い方を一つ間違えるだけで凶器になり得ます。そのために免許制度があり、ルールが存在するのです。被害者がいなければ良いなんてことはありません。少なくとも、私の場合、家族や従業員など多くの方々に迷惑をかけている以上、その方たちが被害者なのです。このことを日々忘れることなく、しっかりと更生の道を歩んでいこうと思います。

三度目の正直、ここで直さなければきっと取り返しのつかない事故を起こしてしまいます。そうした事態を防ぐ意味でも今回、この手記を書かせていただきました。これを読むことで少しでも私の様な無責任な交通犯罪が減ることを心より願っています。大切な人のため、そして尊い命を守るためにも……。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第47集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 三菱重工業(株) 勤労安全課 ————— 相模原市中央区田名
- 日産自動車(株) 相模原部品センター ————— 相模原市南区麻溝台
- 大洋石油(株) ————— 横浜市西区北幸



旭交通安全協会
会長
小磯 守さん
こいそ まもる

今回は、地元の旭区出身で交通指導員から副会長を歴任し、去る6月2日付けで旭交通安全協会会長に就任されました小磯守さんをご紹介します。

会長と交通安全協会との縁は、昭和60年頃、町内会の交通担当を依頼され、小学校の運動会や毎月1日、15日の交通安全日の活動に従事していたところ、ソフトボール仲間から安全協会の交通指導員に勧誘されたのが始まりです。鶴ヶ峰支部長や交通指導員副部長に昇格してからは、孫の通う小学校児童に対する諸先輩の活動を見て交通指導員活動の重要性を痛感し、「はまっ子交通安全教室」や交通指導員の補充などに精力的に取り組みました。平成24年に副会長に就任してからは会長の職務を代行する中で、協会の中核である交通指導員の存亡に危機感を抱き、全力投球で区や区連会などと討議しながら、その協力も得て交通指導員を大幅に増やすことができました。その体制、活動は他にも誇れるものとなっています。

協会の主な活動としては、自転車県大会の予選会を兼

ねて毎年5月末に開催する「旭自転車マナーアップ大会」があります。昨年までは2会場で開催していましたが、今年には学科テストなどに旭警察署の全面協力指導を受け、自動車教習所の1会場に小学生と高齢者を含めて60人くらいを集めて、協会役員や交通指導員も従事して実技テスト、盛大な表彰式などを行いました。秋には鶴ヶ峰駅前前の駐車場や神社などの会場に、5万人以上が集まる「旭区民祭り」が開催されますが、雑踏の交通整理や60店舗の入場整理を行う傍らで、チャイルドシートや自転車シミュレータなどを活用した交通安全教室も開催しています。

その他各季の交通安全運動期間中には、二俣川と鶴ヶ峰の駅前恒例的にキャンベーンを行います。年末には会長も関わっている150年以上も伝統のある「獅子舞(笠はや志保存会)」を活用して「飲酒運転追放」などの活動を行ったり、身近にいる二輪車安全運転指導員に依頼して二輪車安全運転講習にも力を入れています。

会長は、現在は活動に自由のきく会社顧問をしています



が、かつては大手家電メーカーの半導体の営業マンとして、更には重役として活躍してきたこともあり、モットーは「人を大切にすること」ということで、交通関係団体や地域住民、外国の方までも知り合いが多く、それが「財産」と言い切ります。会長の健康の源は、毎月2〜3回のゴルフと、40〜50人の仲間とともにする自宅前公園でのラジオ体操の日課(正月を除く)にあるようです。

会長は、「会員の減少など、協会を取り巻く環境は厳しさを増していますが、協会の方々の熱意あるボランティア活動と事務局の美人女性事務員さんの笑顔と愛嬌に助けられながら支えていただいております。また、可愛い孫の待つ家族の理解もありますので、今後も関係各位のご協力をいただきながら、交通安全活動に邁進してまいります。」と語っています。

取材協力…旭交通安全協会

訂正とお詫び

本紙7月号7ページ上段「この人」欄「八巻裕仁」さんのふりがな「やまさきひろひと」さんが「やまさきゆうじ」と訂正してお詫び申し上げます。

こんにちは 「南交通安全協会」です

南交通安全協会は、昭和22年4月に前身である「寿交通安全協会」として発足しましたが、昭和58年2月に警察署名が「寿警察署」から「南警察署」に変更、所在地も移転したことから、協会名も「南交通安全協会」に改称、さらに今年の6月1日には法人格を取得して「一般社団法人南交通安全協会」として新たにスタートしました。

南区は、区内のほぼ中央を流れる大岡川を挟んで丘陵地に閑静な住宅街が広がっており、面積は約13km²、国道16号、鎌倉街道、平戸桜木線の幹線道路が走っています。1日当たりの交通量は約15万台で、人口は市内11番目の約20万人、人身交通事故全体に占める高齢者事故は約35%と高齢者人口比率約25%よりも高い割合で推移しています。

このような交通環境の中で、平成21年から23年にかけて「交通死亡事故

ゼロ」548日間の記録を達成したこともありますが、今年は、既に4件4名の交通死亡事故が発生してしまいました。

警察署協に事務所を構え、置田会長のもと事務長、4名の職員が「明るく笑顔の対応、区内から悲惨な交通事故をなくす」を合言葉に、一昨年から機関紙「交通安全活動だより」を年4回発行して区内全世帯回覧を行うなど、交通情報発信活動にも力を入れています。

各季の交通安全運動期間中や交通安全日などには、「黄色い絆纏に身を包み」南警察署ご指導のもとに会長をはじめ役員、交通指導員、その他交通団体の皆様とともに、キャンペーンや通学路の街頭交通指導活動を行っています。「高齢者交通教室」、「チャイルドシート着用教室」、「はまっ子交通安全教室」などの交通安全教育活動に際しては、交通指導員を主力としてご協力をいただいております。

また、自転車事故の高額賠償問題



や悲惨な事例などもありますので、特に将来を担う小学生と高齢者を対象に地域自治会、町内会と連携して「地域交通安全自転車教室」を開催しています。コンテンツとしては、ミニ白バイ乗車体験やクイックアーム、自転車シミュレータなどを活用したり、傘さし自転車運転、見通しの悪い交差点の模擬コース走行など、家族が楽しく学べる参加・体験型の交通安全教室を展開しています。

これからも警察署のご指導と区役所・関係団体などのご協力を賜りながら会長、役員、交通指導員、事務局などが一丸となって、各種交通安全活動に取り組んでまいります。

(小野 記)

地区交通安全協会の活動紹介



見 鶴
夏休み前の自転車事故を防止するため、鶴見中学校において、スクーター・ドストレイトを行い、生徒に自転車事故の危険性を強く訴えました。



幸
JR鹿島田駅前の踏切待ちの通行人、自転車利用者に対し、交通安全グッズを配布しながら交通事故に遭わないよう、起こさないよう呼びかけました。



浦 田
京急追浜駅において、警察、交通関係団体関係者40人がチラシやグッズを配布しながら交通事故防止キャンペーンを実施しました。



市 逗子
逗子駅前の交差点において、警察署等と連携し、チラシやグッズを配布しながら「自転車の交通事故防止を呼びかけました。」



北 相模原
JR橋本駅北口ベデストリアンデッキにおいて、駅利用者へ啓発物を配布しながら「夏の交通事故防止運動キャンペーン」を実施しました。



沢 金
京急能見台駅前において、会長、警察署長の挨拶の後、うちわなどを配布しながら夏の交通事故防止キャンペーンを実施しました。



葉 青
夏の事故防止運動の初日、たまプラザ駅前でキャンペーンを実施後、飲食店を訪問し、ハンドルキーパーのミニのぼり旗を配布して飲酒運転根絶を呼びかけました。



生 麻
小田急新百合ヶ丘駅前の1階で式典の後、2階のベデストリアンデッキに移動して通行人に夏の交通事故防止運動を周知しました。



市 三浦
京急三浦海岸駅前に集合し、のぼり旗を掲げ、チラシを配布しながら駅前の飲食店を訪問して「ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。」



市 秦野
国道246号堀川交差点において、警察署と連携し、のぼり旗を掲げ夏の交通事故防止運動の重点である「シートベルトの着用」等を呼びかけました。

夏の交通事故防止運動

インフォメーション

- グッドライダーミーティング _____ 9月 3日
- 地区交通安全協会会長会議 _____ 9月 8日
- 二輪車安全運転講習会 _____ 9月17日
- 秋の全国交通安全運動 _____ 9月21日(水)～30日(金)までの10日間
- 交通事故死ゼロを目指す日 _____ 9月30